

○意識系 ●データ系

No	区分	成果指標	現状値	目標値 (2022年(度))	目標値設定の考え方	出典	備考(目標設定の補足、用語の解説等)
<b>目標4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている</b>							
<b>4-1 地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築</b>							
38	●	家庭部門における1世帯あたりのエネルギー消費量	30.1GJ/世帯 (2006-2010年度平均)	23GJ/世帯 (現状値に対し約24%減)	環境省が2012年6月に発表したエネルギー消費量・温室効果ガス排出量等の見直しにおける、対策・施策強度中位ケースをもとに算出	福岡市環境局調べ	福岡市において温室効果ガス排出割合が高い業務部門における単位数あたりのエネルギー消費量 GJ=ギガジュール
39	●	業務部門における延床面積1㎡あたりのエネルギー消費量	1.08GJ/㎡ (2006-2010年度平均)	0.91GJ/㎡ (現状値に対し約16%減)	環境省が2012年6月に発表したエネルギー消費量・温室効果ガス排出量等の見直しにおける、対策・施策強度中位ケースをもとに算出	福岡市環境局調べ	福岡市において温室効果ガス排出割合が高い業務部門における単位数あたりのエネルギー消費量 GJ=ギガジュール
40	●	再生可能エネルギーの設備導入量	26,600kW (2011年度)	110,000kW	国が示す2030年の再生可能エネルギーの割合が25%~35%であることを踏まえ、九州電力の2012年夏の最大電力需要をもとに、市内電力の30%に相当する再生可能エネルギー設備導入量を目標として設定	福岡市環境局調べ	太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入量
<b>4-2 循環型社会システムの構築</b>							
41	●	ごみ処理量	56.1万トン (2011年度)	49万トン	人口の将来予測に基づき、現行施策の継続に加え、さらなる施策を実施した場合のごみ処理量を推計し、目標として設定	福岡市環境局調べ	ごみ処理量とは、ごみ排出量のうち資源物及び地震や水害などによる確災ごみを除いた量
42	●	リサイクル率	30.4% (2011年度)	36%	資源化推進を目的とした既存の施策の継続に加え、さらなる施策を実施した場合のリサイクル量を推計し、目標として設定	福岡市環境局調べ	ごみのリサイクル率とは、ごみのリサイクル量をごみ処理量とリサイクル量の合計で除した割合
<b>4-3 生物多様性の保全とみどりの創出</b>							
43	○	生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	14.7% (2012年度)	35%	市民の3人に1人が、生物多様性の保全を意識して行動することをめざす。	福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」	設問に「理解して行動している」と回答した割合
44	○	身近な緑への満足度(身近な地域において緑が豊かになっていると感じる市民の割合)	31.6% (2012年度)	55%	福岡市新・緑の基本計画に基づく目標値	福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」	居住する地域の5年前と比べた緑の変化についての設問に「豊かになった」、「どちらかといえば豊かになった」と回答した割合の合計
<b>4-4 まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり</b>							
※成果指標設定なし							
<b>4-5 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築</b>							
45	●	1日あたりの鉄道・バス乗車人員	108万4千人 (2010年)	120万人	福岡市の人口増加率(2010年から2022年までの増加率推計:108%)に応じて、鉄道・バス乗車人員も増加することをめざす。	福岡市統計書(資料:福岡市交通局、西日本鉄道、JR九州、JR西日本)	鉄道:市内各駅の乗車人員(市営地下鉄、西鉄(天神大牟田線、貝塚線)、JR(九州新幹線及び博多南線を含み、山陽新幹線除く。)) バス:西鉄市内バス(一部市外含む。)
46	○	公共交通の便利さへの評価(鉄道やバスなどの公共交通が便利と感じる市民の割合)	77.4% (2012年度)	現状維持 (80%程度を維持)	今後も市民の概ね8割が公共交通が便利だと感じることをめざす。	福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」	設問に「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の合計
<b>4-6 ストックの活用による地区の価値や魅力の向上</b>							
※成果指標設定なし							
<b>目標5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている</b>							
<b>5-1 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ</b>							
47	●	入込観光客数(日帰り)	1,152万人 (2010年)	1,250万人	2022年までに入込観光客総数2,000万人を達成するため、日帰り観光客について現在の1割増をめざす。	福岡市観光統計	
48	●	入込観光客数(宿泊)	490万人 (2010年)	750万人	2022年までに入込観光客総数2,000万人を達成するため、宿泊観光客について現在の5割増をめざす。	福岡市観光統計	

○意識系 ●データ系

No	区分	成果指標	現状値	目標値 (2022年度)	目標値設定の考え方	出典	備考(目標設定の補足、用語の解説等)
<b>5-2 緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり</b>							
49	○	過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園)に行ったことがある市民の割合	47.9% (2011年度)	60%	毎年1ポイント程度の増加をめざす。	福岡市市長室「市政に関する意識調査」	
<b>5-2 情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり</b>							
50	●	観光案内ボランティアの案内人数	6,940人 (2011年度)	15,000人	過去の推移を考慮し5年間で約4,000人程度の利用者の増加をめざす。	福岡市経済観光文化局調べ	観光案内ボランティアを利用した人数
51	●	観光情報サイトのアクセス数(観光情報サイト「よかなび」の月間PV(ページビュー))	608万PV (2012年6月～9月平均)	910万PV	過去の推移を考慮し、1.5倍の増加を目標として算出	福岡市経済観光文化局調べ	福岡市の観光情報を発信するウェブサイトとして作成した観光情報サイト「よかなび」内ページへのアクセス(クリック)数
<b>5-4 交流がビジネスを生むMICE拠点の形成</b>							
52	●	国際コンベンション開催件数	216件 (2010年)	250件	現状値からの年間の増加件数を3件と推計し、12年後の36件程度の増をめざす。	日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」	国際コンベンションとは、次の条件の全てを満たすもの①国際機関・国際団体(各国支部を含む。)または国家機関・国内団体が主催②総参加者数50人以上③参加国が日本を含む3か国以上④開催期間が1日以上
53	●	国内コンベンション誘致件数	138件 (2011年度)	160件	現状値からの年間の増加件数を2件と推計し、11年後の目標22件増をめざす。	福岡市経済観光文化局調べ	対象は、九州レベル以上の学会や大会で総参加者数が概ね100名以上
<b>5-5 国際スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興</b>							
54	●	福岡市を活動拠点とするプロスポーツチームなどの主催試合観客数(福岡ソフトバンクホークスを除く)	29万8千人 (2011年度)	39万人	各団体の目標値の合計を設定	福岡市市民局調べ	アビスパ福岡、九州電力キューデンヴォルテクス、コカ・コーラウエストレックスパークス、福岡サンクスブルース、ライジング福岡、福岡J・アンクラスの主催試合及び大相撲九州場所の観客数(福岡ソフトバンクホークスの主催試合は、観客数が年間200万人(1試合あたり3万人)を超えており、既に市民の認知度も高いことから除外)
55	○	スポーツ観戦の機会への評価(福岡はスポーツ観戦の機会に恵まれた都市だと思ふ市民の割合)	72.5% (2012年度)	83%	毎年1ポイントの増加をめざす。	福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」	設問に「恵まれている」、「どちらかといえば恵まれている」と回答した割合の合計
<b>5-6 国内外への戦略的なプロモーションの推進</b>							
56	●	福岡市への外国人来訪者数	85万人 (2010年)	250万人	2022年までに入込観光客総数2,000万人を達成するため、外国人観光客数について現在の3倍をめざす。	法務省「出入国管理統計」観光庁「訪日外国人の消費動向」	福岡空港・博多港から入国した外国人数と福岡空港・博多港以外から入国して福岡市を訪れた外国人数(推計値)の合計
57	●	外航クルーズ客船の寄港回数	63回 (2010年)	250回	将来の需要動向、これまでの実績等を勘案し目標を設定	福岡市港湾局調べ	
<b>目標6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている</b>							
<b>6-1 産学官連携による、知識創造型産業の振興</b>							
58	●	情報通信業の従業者数	44,910人 (2009年)	54,000人 (2021年)	2006年から2009年までの伸び人数を下回らないことを目標として設定	総務省「経済センサス基礎調査」	
59	●	市内大学の民間企業などとの共同研究件数	699件 (2010年度)	1,000件	過去の実績を考慮し、年3%の増を目標として設定	文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」	文部科学省「大学等における産学連携等実施状況共同研究実績」から、市内大学の実績件数を抽出
<b>6-2 成長分野の企業や本社機能の立地の促進</b>							
60	●	成長分野・本社機能の進出企業数	28社/年 (うち外国企業等8社)(2008～2011年度平均)	50社/年 (うち外国企業等15社)	過去の実績を考慮し、50社/年を目標として設定	福岡市経済観光文化局調べ	外国企業とは、外国企業及び外資系企業をいう
61	●	進出した企業による雇用者数	2,501人/年 (2008～2011年度平均)	3,000人/年	過去の実績を考慮し、3,000人/年を目標として設定	福岡市経済観光文化局調べ	

○意識系 ●データ系

No	区分	成果指標	現状値	目標値 (2022年(度))	目標値設定の考え方	出典	備考(目標設定の補足、用語の解説等)
<b>6-3 地域経済を支える中小企業等の競争力強化</b>							
62	●	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合	1.45% (2009年)	1.50% (2021年)	過去の推移を考慮して目標を設定	総務省「経済センサス基礎調査」	従業者規模300人未満の民営事業所の従業者数(福岡市)÷従業者規模300人未満の民営事業所の従業者数(全国)
<b>6-4 農林水産業とその関連ビジネスの振興</b>							
63	○	福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思う市民の割合	75.2% (2012年度)	85%	農林業総合計画の目標値(2016年度までに80%以上)と、2002年から2012年までの伸び率(65.1%→75.2%)を踏まえて設定	福岡市総務企画局「基本計画の成果指標に関する意識調査」	設問に「守り育てていくべき」、「どちらかといえば守り育てていくべき」と回答した割合の合計
64	○	新鮮でおいしい食べ物の豊富さへの満足度	87.6% (2011年度)	現状維持 (85~90%を維持)	これまでも高い水準で推移しており、現状を維持していく。	福岡市市長室「市政に関する意識調査」	
65	●	食関連産業の従業者数	156,303人 (2009年)	170,000人 (2021年)	人口の増加予測を考慮して目標を設定	総務省「経済センサス基礎調査」	食関連産業とは、日本標準産業分類の中分類のうち、農業、漁業、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、飲食物品卸売業、飲食物品小売業、飲食業、持ち帰り・配達飲食サービス業のこと(農業、漁業は個人経営の事業所を除く。)
<b>6-5 就労支援の充実</b>							
66	○	就業機会の多さに対する満足度	32.0% (2011年度)	50%	就業機会が多いと感じている人の割合を、3人に1人(2011年度)から、2人に1人に増やすことをめざす。	福岡市市長室「市政に関する意識調査」	
67	●	市の施策による就労者数	910人 (2011年度)	1,400人	過去の実績を考慮し、年4%増を目標として設定	福岡市経済観光文化局調べ	正社員チャレンジ応援事業、就労支援プラザ事業、就労相談窓口事業、障がい者就労支援センター運営事業などによる就労者の合計
68	●	25歳から44歳までの女性の就業率	66.2% (2007年)	75%	国の「第3次男女共同参画基本計画」における同指標の目標値を踏まえ、同程度以上を目標として設定	総務省「就業構造基本調査」	
<b>目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している</b>							
<b>7-1 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり</b>							
69	●	新設事業所数	790事業所/年 (2009年)	850事業所/年 (2021年)	現状値の改善を図る。	総務省「経済センサス基礎調査」	
<b>7-2 創造的活動の基盤となる文化芸術の振興</b>							
		※成果指標設定なし					
<b>7-3 個人の才能が成長を生む創造産業の振興</b>							
70	●	クリエイティブ関連産業事業所数	2,571事業所 (2009年)	2,900事業所 (2021年)	クリエイティブ関連産業企業の新規立地数150社、新規創業数200社をめざす。	総務省「経済センサス基礎調査」	クリエイティブ関連産業とは、経済産業省の定義による。(建築、コンピュータソフト・サービス業、映像・音楽、広告、デザイン業等) 成果指標の数値は、経済センサスより、関連する事業者(ソフトウェア業、映像・音声・文字情報制作業、広告業、デザイン業、インターネット付随サービス業、繊維工業、放送業、情報提供サービス業、興行場(団)、映画館、著述・芸術家業など13業種)を抽出
<b>7-4 多様な人が集まり交流・対話する創造的な場づくり</b>							
		※成果指標設定なし					
<b>7-5 チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり</b>							
71	●	若者率の全国平均との差(福岡市の人口に占める若者率の全国平均との乖離)	+3.9ポイント (2010年度)	+5.0ポイント (2020年度)	若者数が減少傾向にある中で全国の若者率の推移と比較し、さらに高い水準をめざす。	総務省「国勢調査」	2010年度全国平均値15.6% 福岡市19.5% ※15歳~29歳、年齢不詳を除く
72	●	企業における女性管理職比率	5.5% (2009年度)	12%	国の「第3次男女共同参画基本計画」における同指標の目標値を踏まえ、同程度以上を目標として設定	福岡労働局「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に係る実態調査」	

○意識系 ●データ系

No	区分	成果指標	現状値	目標値 (2022年(度))	目標値設定の考え方	出典	備考(目標設定の補足、用語の解説等)
<b>7-6 大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化</b>							
73	●	全国の学生数に占める福岡市の割合	2.9% (2011年度)	現状維持	現状値は他都市と比べても高い割合であるが、今後若者が減少し、高等教育機関間の競争も一層激しくなる中、現状値を維持し続けることを目標として設定	文部科学省「学校基本調査」 福岡市教育統計年報	学生数とは、大学生数(院生・聴講生等を含む)、短大生数、専修学校生数、各種学校生数の合計
<b>目標8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている</b>							
<b>8-1 都市の活力を牽引する都心部の機能強化</b>							
74	●	都心部の従業者数	36万5千人 (2009年)	40万人 (2021年)	「福岡市の将来人口推計」における全市人口の伸び率と同等と仮定し、現状値から8.5%増をめざす。	総務省「経済センサス基礎調査」	
75	●	都心部の1日あたりの歩行者交通量	105,961人 (2011年度)	113,000人	「福岡市の将来人口推計」における全市人口の伸び率と仮定し、現状値から6.9%増をめざす。	福岡市住宅都市局調べ	天神地区、博多地区の歩行者交通量の調査点のうち12地点の合計(平日7時から20時まで)
<b>8-2 高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり</b>							
76	●	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドももち(SRP地区)の従業者数	合計:13,127人 (2009年) ※アイランドシティ みなとづくり エリアを除く。	合計:約30,000人 (2021年)	アイランドシティ:アイランドシティ熟成時における就業人口計画(1万8千人)及び2021年次における土地分譲等の開発計画を基に目標を設定。 九大学研都市:九州大学の移転計画や元岡研究開発ゾーンの実績と予測を基に目標を設定。 SRP地区:ピーク時を目標として設定。	総務省「経済センサス基礎調査」 福岡市経済観光文化局調べ	現状値:アイランドシティ(みなとづくりエリアを除く。)345人、九大学研都市6,132人、SRP地区6,650人の合計 目標値:アイランドシティ15,000人(みなとづくりエリアを含む。)、九大学研都市7,600人、SRP地区7,000人の合計
<b>8-3 国際的なビジネス交流の促進</b>							
77	●	博多港・福岡空港における貿易額	3兆1,870億円 (2011年)	4兆円	2011年度の貿易額をベースに、過去5年間の平均伸び率(2%)で増加することを目標として設定	財務省「貿易統計」	目標値の内訳は、博多港28,776億円、福岡空港10,850億円
<b>8-4 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり</b>							
78	●	博多港国際海上コンテナ取扱個数	85万TEU (2011年)	130万TEU	全国の将来推計値(国土交通省港湾局 2011年5月)に基づき、博多港の全国シェアから目標を設定	博多港統計年報	TEU:20フィートコンテナに換算してコンテナ個数を数える単位
79	●	外国航路船舶乗降人員	87万人 (2010年)	210万人	将来の需要動向、これまでの実績等を勘案し目標を設定	博多港統計年報	
80	●	福岡空港乗降客数	1,634万人 (うち国際線 241万人) (2010年)	1,800万人 (うち国際線 350万人)	2011年の乗降客数をベースに、過去のトレンド等に基づき目標を設定	国土交通省「空港管理状況調査」	
<b>8-5 グローバル人材の育成と活躍の場づくり</b>							
81	○	外国語で簡単な日常会話ができると思う生徒の割合	35.9% (2011年度)	60%	外国語で簡単な日常会話ができると思う生徒の割合60%以上をめざす。	福岡市教育委員会調べ	「外国人と英語、中国語、韓国語などの外国語で、簡単な日常会話ができるか」との設問に「できる」と回答した生徒(中学校3年生)の割合
82	●	就労目的の在留資格を持つ外国人の数	2,702人 (2012年)	4,000人	過去10年間の年平均伸び率を下回らない割合での増加をめざす。 (現状値から概ね1.5倍に増加)	住民基本台帳	就労目的の在留資格は、教授、芸術、宗教、報道、投資・経営、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術、人文知識・国際業務、企業内転勤、興業、技能 現状値は2012年9月末現在の住民登録者数のうち、上記在留資格による外国籍の合計
<b>8-6 アジアの諸都市などへの国際貢献の推進</b>							
83	●	視察・研修受入人数	602人 (2011年度)	1,700人	現状値から毎年おおむね10%の増加をめざす。	福岡市総務企画局調べ	
<b>8-7 釜山広域市との超広域経済圏の形成</b>							
84	●	福岡・釜山間の定期航路の船舶乗降人員	69万人 (2010年)	90万人	将来の需要動向、これまでの実績等を勘案し目標を設定	博多港統計年報	

○意識系 ●データ系

No	区分	成果指標	現状値	目標値 (2022年(度))	目標値設定の考え方	出典	備考(目標設定の補足、用語の解説等)
<b>8-8 アジアをはじめ世界の人にも暮らしやすいまちづくり</b>							
85	○	在住外国人の住みやすさ評価 (福岡市は住みやすいと感じる 在住外国人の割合)	58.7% (2011年度)	67%	福岡市民全体を対象とした同種の 調査において「住みやすい」を選択 した者の割合が最も高かった、67% (2011年度)をめざす。	福岡市総務企 画局「外国籍 市民アンケート」	設問に「住みやすい」と回答した割 合
86	●	福岡市に住んでいる外国人の 数	24,155人 (2012年)	39,000人	「留学」以外の在住外国人にあつて は過去10年間の伸び率を下回らな い割合での増加、「留学」の在住外 国人にあつては国における伸び率と 同等の割合での増加をめざす。	住民基本台帳	